

「東海支部 2019 年度講習会」

日時：2019 年 10 月 5 日（土）14：00～16：00

場所：名古屋学芸大学メディア造形学部

参加者数：25 名

「3D ファッションシミュレーションシステム i-Dfit を用いた資料（試料）制作実習」

講師：石原久代 先生（椙山女学園大学生生活科学部）

鷺津かの子 先生（名古屋学芸大学メディア造形学部）

本年度の講習会は、本支部の石原久代先生と鷺津かの子先生に講師をお願いし、ファッションデザインの実習を行いました。久しぶりのアパレル分野の講習会です。

ファッションデザインを専門に行う学科でなければ中々経験できないシミュレーションシステムのソフトウェアが実際に使用できる貴重な機会です。私も非常に楽しみにしておりました。

各参加者はパーソナルコンピュータ上で、被服の色、柄、形、アクセサリなどを様々に組み合わせデザインを行っていきます。ジャケット、シャツ、スカート、パンツを入れ替えたり、アクセサリを変化させたり、何度も試行錯誤しながら、いろいろな作品を作っていきます。（私もいくつか作成し自己満足に浸っていましたが、他の参加者の作品を見るとずっとそちらの方が素敵で、自分のセンスに失望…。）

ファッションデザインに色彩が重要な役割を果たすことは当然ですが、このような実習を経験しながら色の入れ替えなどを試してみると、実験室的な状況で色を観察するのとは大きく異なり、単一の色彩の効果よりも、デザインとの対応や配色の重要性が実感できます。被服製作を実際に行っている方には当然のことかと思いますが、そうでない者には、とても新鮮な経験です。

石原先生、鷺津先生が初心者に配慮したとてもわかりやすいインストラクションをしてくださったおかげで、私も含めて初心者でも操作に戸惑うことはほとんどなかったようです。時々操作がわからなくなった場合には、参加者ごとに両先生が個別に対応してくださったので、たいへんスムーズな進行でした。制作をしていると2時間はあっという間でした。

定員に近い多くの方にご参加いただきました。

石原先生、鷺津先生、また、会場をご提供いただいた名古屋学芸大学に心より御礼を申し上げます。

(羽成隆司)